

※記載例※

今回記載いただく部分は
2ページ目以降です。



第3号様式（第7条関係）

SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

※申請時に記載の内容

<宣言日>2025年4月7日

事業者情報					
事業者名		株式会社〇〇〇〇			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役			
	氏名	大田 太郎			
ホームページ URL (任意)		https://www.ota.xxxxx.xx/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
私たちの会社は、2030年には持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた先進企業とされることを目指しています。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標 (複数選択可) (これまでに取り組んでいるゴール・目標: ○ これから取り組みたいゴール・目標: ●)					
1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
			○	○●	
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
	●	●			○●
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

※記載例※

※申請時に記載の内容

目標の達成に向けた重点的な取組内容等				
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)	SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組		
①	経済	✓	【メイン】 5, 8 【サブ】 3, 10, 16	<働きやすい環境づくり> ・人権問題やハラスメント防止に関する研修を実施する。 ・育児支援制度を確立し、女性の働き方改革や育児と仕事の両立を支える。
	社会	✓		
	環境	□		
②	経済	□	【メイン】 12 【サブ】 9, 11, 13	<リサイクルの促進> ・産業廃棄物のリサイクル率を70%→90%に高める。 ・インセンティブ制度を導入する。 ・環境に優しい材料の使用を増やし、化学物質管理を徹底する。
	社会	✓		
	環境	✓		
③	経済	□	【メイン】 9 【サブ】 4, 8, 17	<技術革新の推進> ・新しい技術や製品の開発を推進する。研究開発に投資し、新しいマーケットを開拓する機会を増やす。 ・大手企業や研究機関と協力し、技術の向上や市場参入の機会を増やす。
	社会	✓		
	環境	□		

※赤字で囲まれた部分が、今回記載していただく部分です。令和7年度の取組について、1年目の欄に記載してください。
 上記の「目標の達成に向けた重点的な取組内容等」に記載した①～③の取組の進捗状況について、具体的に記載してください。

今回の記載部分		進捗報告	
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	<ul style="list-style-type: none"> 従業員全員を対象に研修を年2回実施。参加率80%を達成。 フレックス勤務制度やテレワークを導入・推進し、柔軟な働き方を可能にしました。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修参加率が90%に向上。内容の改善を図り、オンライン研修も導入。 育児休業中の給与補助制度を導入し、育児休暇取得者の経済的負担を軽減しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修プログラムが成熟し、学びの機会が持続的に提供されています。 育児支援制度が定着し、女性従業員の職場復帰率向上や従業員満足度調査で高評価を得る等の成果が出ています。
②	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル活動を促進するためインセンティブ制度を試験導入し、リサイ 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル率85%を達成。 環境配慮型材料の使用割合が30%に到達。 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル率が目標の90%に到達。今後も改善を継続します。

※記載例※

	<ul style="list-style-type: none">・ 75%を達成。・ 20%の材料を環境配慮型材料に切り替え。サプライヤーとも協力し、化学物質管理の強化を進めています。		<ul style="list-style-type: none">・ 環境配慮型材料の使用割合が 40%になり、業界内でもリーダー的存在となっています。
③	<ul style="list-style-type: none">・ 新製品プロトタイプの開発に成功し、今後のテストマーケティングを計画しています。・ 地元大学と共同研究契約を締結し、知識の獲得と技術向上を目指しています。	<ul style="list-style-type: none">・ プロトタイプをベースにした新製品を正式に市場投入しました。売上は予測を上回っています。・ さらに2つの研究機関と提携し、共同研究プロジェクトを開始しました。製品の技術革新に結び付けています。	<ul style="list-style-type: none">・ 新製品が業界から高い評価を受け、売上が前年対比で 20%増加しました。・ 研究機関とのパートナーシップにより、新たな特許を 2 件取得。革新的な技術を市場参入の足掛かりにしています。